

2019年1月10日掲載 カーゴニュース

変化に対応し、新たな道を

第一貨物社長 武藤幸規

われわれの特別積合せ事業の狙いはBtoBに沿った物流だが、近年拡大するネット販売はBtoCの宅配が主流だ。宅配がさらに拡大していく変化に対して、どう対応していくかが喫緊の課題となる。川上物流・調達物流への注力が必要とされることに加え、海外関係の物流の開拓や、夜間の集荷・配達など通常ではない輸送も考慮していかなければならないかもしれない。小口混載という特積み事業の特性を活かしながら新たな道を見つけ、時代の大きな変化になんとしても対応していくために考え、行動すること

が重要だ。今後40年、50年、それ以上の事業継続を考え、力を合わせて進んでいこう。

